



# 金曾木だより

台東区根岸4-16-22 TEL 03(3876)3701 FAX 03(3871)9507  
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310218>

令和5年度 3月号  
台東区立金曾木小学校  
校長 細田 儀広  
令和6年 2月29日

「自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子 自分のよさを伸ばす子」

## 笑顔あふれる一人一人が主役の学校

校長 細田 儀広

令和5年度が終わります。私は、学校経営方針の目指す学校像として、「笑顔あふれる一人一人が主役の学校」の創造を、3年前より掲げています。保護者会でも丁寧に説明できていなかったのが、年度末ではありますが、1年間を振り返るという意味で、あらためて説明させていただきます。

教師をしていると学校で見せる子どもたちの姿の陰に、様々な事情や悩みを抱えていることが見えてきます。その事情や悩みは、それぞれですが当事者の子どもからしたら、一時しか関わっていない周りの大人にとにかく言われたくないだろうな、と想像しています。

私自身も義務教育の9年間で順風満帆に過ごしたわけではありません。学校外での経済事情(衣・食・住)や家庭環境、学力、生活態度、友達関係など、その理由は多岐にわたります。多くの大人が子どもの頃、何かしらの悩みや問題を抱えながら、上手に付き合ったり周りの力をかりたりして、学校生活を過ごされたのではないのでしょうか?逆に、何事もなく毎日が幸せの連続で、9年間で過ごせた人の方が少ないような気がします。

また、現代は多様性の時代と言われています。国際化、情報化が進み多種多様な国の人が日本のみならず、世界中で生活しています。他にも LGBTQ や特別支援、家庭環境等に関わらず、人権尊重の精神に則り、お互いの違いを認め誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、日本を含めた先進国の多くが取組を始めています。

10年以上前の話ですが、私もかつて担任として、教室で子どもたちと生活していました。年度の途中で転入生があり、クラスの人数が40人を超えてしまった時もありました。当然のことですが、子どもは一人一人見た目や能力、性格が違います。もちろん、家庭環境や生育歴も違います。40人いれば40の個性があります。学校は小さな社会です。お互いの違いを認め、自分の個性を表に出せる環境でこそ、子どもの能力を伸ばすことにつながります。担任をしていた頃から、その子がどんな環境下にあろうとも、学校にいる間だけでも、安心して安全な生活を確保してあげたいと思っていました。「いじめや差別がない、正しい事が言える、失敗してもやり直せる、自分は大事な存在だと思われている、分からないことは教えてもらえる」これは、学校の力で子どもに保障できることです。目指す学校像の根底には、私自身の苦い経験がありました。1日(24時間)、睡眠時間を除くと、子どもたちは生活のほとんどを学校で過ごします。学校で過ごす時間は、大人が想像する以上に子どもたちにとって大事なのです。

そして、私たちが自分の人生を大切にように、子どもたち一人一人が、人生を生きる主人公です。学校でも誰もが自分の人生を生きる主役なのです。また、学校の主役は、教師や保護者ではなく、子どもたちであるという意味も込められています。

年度末にあたり、目の前の子どもたちの姿や保護者の皆様からの生の声、学校評価を通して、1年間を振り返り、金曾木小学校が益々よい学校となるよう、これからも精進してまいります。本校の教育活動にご理解ご協力をいただいた保護者、地域の皆様にあらためて感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。